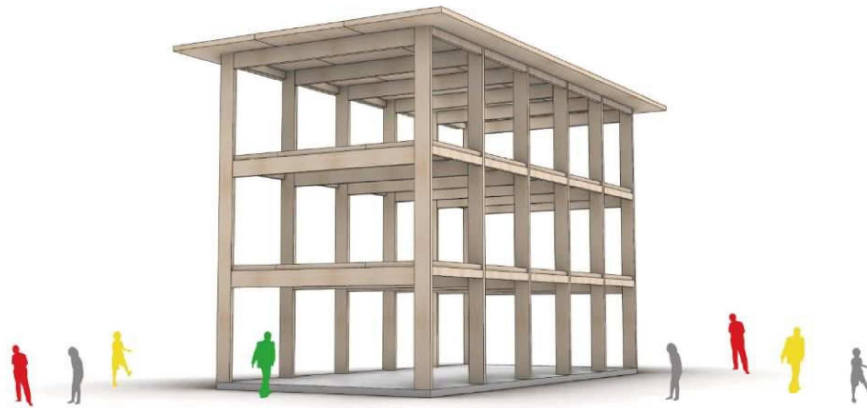
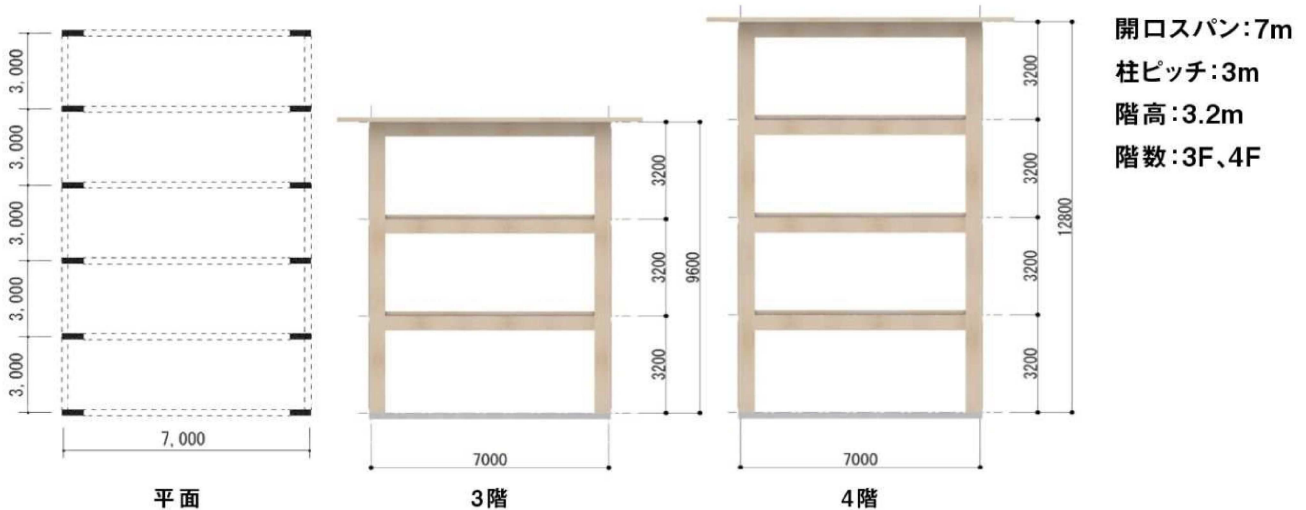


# みんなではじめる木造ビル「コレモク」



## KOREMOKU/コレモクとは？

高知県産材による大断面集成材を使用して建てる木造ビルとして全国へ発信していきます。これまで、鉄骨造や鉄筋コンクリート造が多かった4階建てまでの建築を、高知県の木材と技術で建てることができます。この高知モデルを、コレからのモク造建築の一つとしてとらえ、みんなで普及・推進していけるように「コレモク」と命名しました。



建築主がはじめるコレモク	施工者がはじめるコレモク
<ul style="list-style-type: none"> <li>●木造で3階、4階のテナントビルや事務所ビルを建てたい。 →都市部の細長い敷地でも木造でビルを建てるができます。</li> <li>●室内の間取りを自由に変更できるように柱の無い空間が欲しい。 →ラーメン工法により、全ての階で室内に柱を設ける必要がなく、間仕切りも自由に変更することができます。</li> <li>●建物計画をする際に概算工事費を知りたい。 →同じ形状の建物とすることで、精度の高い工事費をお伝えすることが可能となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●木造住宅を得意としているが、中規模木造にも挑戦したい。</li> <li>●鉄骨造、鉄筋コンクリート造を得意としているが、木造建築にも挑戦したい →設計図や施工要領も整備し、新たな分野への挑戦をサポートします。</li> </ul>

●お問合せ

高知の都市木造相談窓口  
問合せフォーム



KOREMOKU推進室

〒780-8052 高知県高知市鴨部1丁目19-35  
中央青果市場内 (Reegle株式会社内)  
Mail reegle.kk@gmail.com

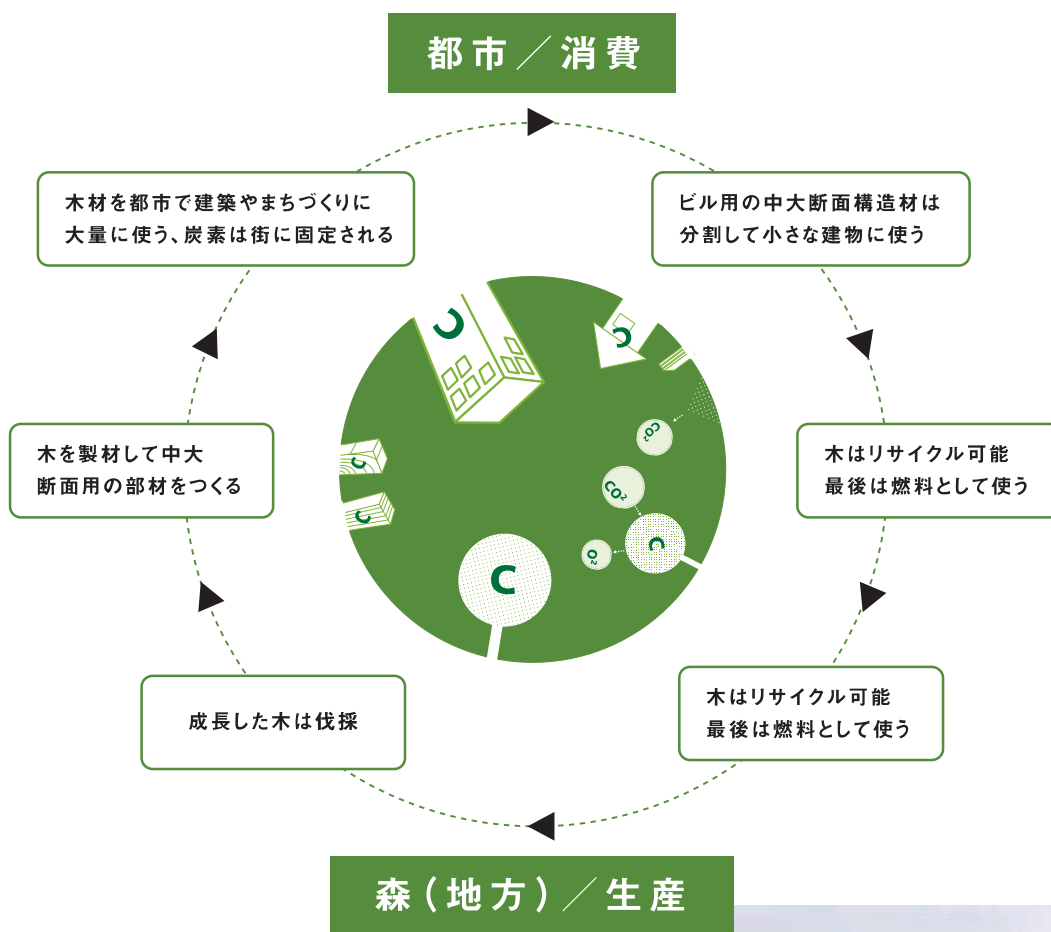
K O R E  
M O K U

## 持続可能な社会をつくる

### 地産都消 / 森と都市の循環

日本には豊かな森林がありますが、その資源は有効に活用されず山の荒廃を招いています。一方、都市部ではSDGsやESG投資の観点から建築やオフィス空間に木材を使うことへの関心が高まりつつありますこのような状況を改善するため、地方で生産される木材を都市で建築やまちづくりに利用する「地産都消」を提唱します。都市木造の建設で木材が大量に使用され、都市に蓄えられる一方、山では森林が更新され育っていき、林業・木材産業が再生可能な産業として再構築されます。昔の日本ではごく当たり前存在した「森と都市の循環」が現代によみがえるでしょう。

● 森林の成長に合わせた建築・まちづくりの模索



## 高知の木をたくさん使う

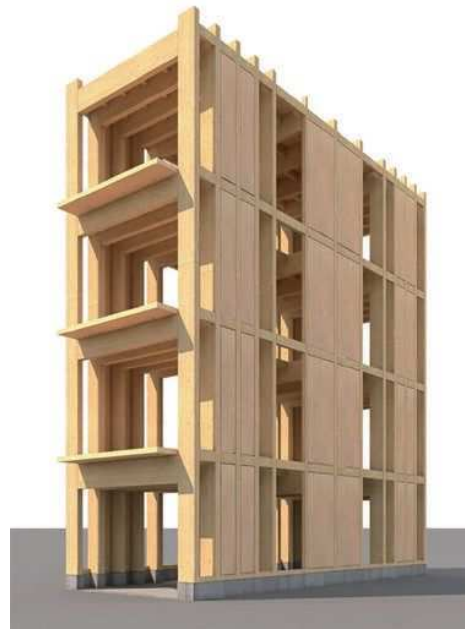
### 高知の山の環境を守る

都市木造『高知モデル』の開発が進むと、高知の木が日本全国でたくさん使われるようになります。伐採と植林により森林が更新されれば、高知の山の環境は守られ、持続可能なサイクルを作り出すことができます。



## 高知のヒノキ・スギの特徴を活かした 都市木造『高知モデル』を日本全国に

高強度・大径木といった高知のヒノキやスギの特徴を活かした都市木造『高知モデル』を開発しています。そのベースとなっているのは中大規模木造の規格化を目指して作られたKiモデル(中大規模木造研究会設計支援データベース)です。開発した都市木造『高知モデル』は、高知産材の部材とセットで、誰でも簡単に建てられるパッケージとして日本全国に売り出していきます。高知の木が、日本の未来のまちづくりに貢献していくことになるでしょう。



Kiモデル

## 木を使った都市木造の部材開発

都市木造では、柱・梁・床・屋根といった構造材はもちろんのこと、外装材、内装材、サッシ、造り付け家具など様々な部位に木が使われており、こうしたパーツについても高知の木を使った開発を目指します。



### 構造材

柱 / 梁 / 床



### サッシ

### 造り付け家具

### 外装材



### 内装材

ひとつのビルの様々な部位に、いろいろな種類の木材が大量に使用されます。ビルが建ち続けている間は炭素が固定されることとなるため、都市は「第二の森林」と呼ばれます。